

家電製品アドバイザー(生活家電)資格審査基準

2026年版

資格要件(期待する水準)	知識要件	
	生活家電	CS・法規(共通)
<p>家電製品のユーザーに対して、購入時の商品選択から購入後の使用方法・不具合解決・廃棄に到るまでのアドバイスを適切に行うために、次の商品知識・関連法規類の基礎知識・接客マナーなどの能力を有すること。</p> <p>1. 販売実務知識、接客マナー及びコミュニケーション力を有する。</p> <p>2. 製品の動作原理・仕組み、上手な使い方、安全上の注意などに関する知識を有し、分かりやすく説明できる。</p> <p>3. 据え付け、点検などに関する知識を有し、適切なアドバイスができる。</p> <p>4. 不具合事象に関する知識を有し、ある事象について、正常か、製品故障によるものか、不適切な使用方法によるものかの切り分けができる。</p> <p>5. 省エネに関する知識を有し、各製品の省エネ機能や効果的な節電方法などについて適切なアドバイスができる。</p> <p>6. 電気安全に関する知識を有し、適切なアドバイスができる。</p> <p>7. 「消費者保護」、「製品安全」、「省エネ・環境」などの関連法規の知識を有し、分かりやすく説明できる。</p> <p>8. 家電製品および関連技術の最新動向など消費者が関心を寄せる時事的なテーマについて、分かりやすく説明できる。</p>	<p>1.エアコン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷房・暖房・除湿の仕組み、インバーター制御 ・機種選定(通常エネルギー消費効率、畳数の目安、冷房能力・暖房能力など) ・冷媒特性、フロンの見える化、フロン排出抑制法、フロンラベル ・フィルター、ファン、熱交換器の自動掃除、給気換気/排気換気、センサーと気流制御 ・AIおよびIoT技術の活用 ・ポンプダウン、エアバージ(エコロジー工事) ・冷媒回路の保証期間、補修用性能部品の保有期間など <p>2.空気清浄機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械式・電気式の仕組み ・集じん性能と脱臭性能、適用床面積の目安など <p>3.除湿機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー式・デシカント式の仕組み ・機種選定(除湿可能面積の目安、運転可能な温度範囲など)など <p>4.加湿器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチームファン式・フィルター化気式・加熱化気式・超音波式の仕組みなど <p>5.扇風機・サーキュレーター</p> <p>6.換気扇・浴室換気暖房乾燥機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シックハウス対策と24時間換気、ヒートショック防止策と浴室換気暖房乾燥機 ・換気扇の種類(標準換気扇、レンジフードファン、全熱交換器など) ・全体換気と局所換気、換気の種類(第1種・第2種・第3種)など <p>7.冷蔵庫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質の三態と状態変化、冷凍サイクル、冷媒特性、ノンフロン冷蔵庫 ・直接冷却方式と間接冷却方式、霜取りと放熱 ・各室の温度と保存食品の関係、冷凍室の性能表示、消費期限と賞味期限 ・各種機能(自動製氷、エチレンガス抑制、急速冷凍など) ・AIおよびIoT技術の活用 ・機種選定(扉の開き方、目安容量、消費電力など)、省エネ対策など <p>8.IHジャー炊飯器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IH式の仕組み、圧力式IHの仕組み、内釜の構造 ・炊飯工程(浸し、炊飯、蒸らし、保温) ・炊飯時の注意事項、冷凍時の保存の仕方と解凍時の温め方 ・安全表示(PSCマーク、SGマーク、PSEマーク、Sマーク)など <p>9.IHクッキングヒーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電磁誘導加熱の原理 ・使える鍋の材質・形状など <p>10.オーブンレンジ・電子レンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンジ加熱・オーブン加熱・グリル加熱・過熱水蒸気加熱 ・自動加熱とセンサー、赤外線アレイセンサー ・安全対策(突沸、食品発火、金属容器など)など <p>11.洗濯機・洗濯乾燥機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯の原理、洗濯機の種類(二槽式、全自洗、洗濯乾燥機) ・水量・水流・洗濯時間の自動設定(布量センシング、布質センシング) ・乾燥方式の種類(ヒートポンプ方式、空冷除湿方式、水冷除湿方式) ・搬入経路、洗濯機パン・排水ホースの設置、給水ホースの取り付けなど <p>12.掃除機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除機の種類(スティック型、ハンディ型、ロボットクリーナー、キャニスター型) ・スティック型の種類(ゴミ自動収集ステーションつき等)、機能等 ・紙パック式・サイクロン式、パワーブラシ・ターボブラシ、整流子モーター ・ロボットクリーナーのマッピング型・ランダム型、SLAM技術、バッテリー交換 ・吸込仕事率、吸込力持続率、ダストピックアップ率など <p>13.ふとん乾燥機</p> <p>14.アイロン</p> <p>15.照明器具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク・アンビエント照明、フォーカル照明とアンビエント照明、LEDの普及推進、Lighting5.0 ・照明の単位(全光束、光度、照度、輝度)、光源色と色温度 ・LEDの発光原理、シングルチップ方式とマルチチップ方式 ・電球形LEDランプ/LEDシーリングランプ/直管LEDランプ/環形LEDランプ ・光束と適用畳数の基準、平均演色評価数 ・間接照明/直接照明/多灯分散照明/建築化照明など <p>16.ヒートポンプ給湯機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコキュート(一般的なエコキュートと水道直圧給湯方式)の仕組みと構成 ・地域区分と機種選定、エコキュートの種類(フルオート・セミオート・給湯専用) ・レジリエンス機能(停電時/断水時) ・電力契約、太陽光発電システム連携モード、おひさまエコキュートなど <p>17.温水洗浄便座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄水の加温方式(貯湯式・瞬間式I型・瞬間式II型)、洗浄水の温度 ・各種機能(ふたの自動開閉、着座センサー、脱臭など)、待機電力セモードなど ・節水によるCO2削減 <p>18.住宅用火災警報器</p> <p>19.太陽光発電システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電の原理、モジュール変換効率、太陽電池の温度特性 ・太陽光発電システムの構成(接続箱、ワーコンディショナ、自立運転コンセントなど) ・固定価格買取制度(FIT)、卒FIT(余剰電力の活用)、グリッドパリティ ・屋根の種類と特徴、太陽光パネルの設置方法(屋根置き型・屋根一体型) ・自己所有と初期費用0円ソーラーサービスの比較など <p>20.電源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配電方式、分電盤の配線、感電防止対策、避雷器搭載分電盤、感震ブレーカー ・電気料金の計算(燃料費調整制度、再生可能エネルギー発電促進賦課金など) ・再生可能エネルギー・枯渇性エネルギー ・ディマンドリスボンス・電力小売の全面自由化 ・安全対策(たこ足配線、定格の順守、トラッキング防止)など <p>21.電池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学電池・物理電池、電池の表示記号、一次電池・二次電池の種類 ・フレキシブルリチウムイオン電池、全固体電池 ・使用済み電池(リチウムイオン電池含む)の廃棄方法、ボタン電池の無水銀表示など <p>22.電気ファンヒーター・電気カーペット・電気毛布・電気こたつ</p> <p>23.ドライヤー・電動歯ブラシ・シェーバー</p> <p>24.共通事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー・ラベリング制度、トップランナー制度、小売事業者表示制度 ・家電リサイクル法・小型家電リサイクル法 ・長期使用製品安全表示制度、消費生活用製品安全法、電気用品安全法など 	<p>1.CS総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CS(顧客満足) ・CSの視点とお客様からの評価 ・経営におけるCSの位置づけと実務への展開 ・CS向上のために各店・従業員が実践すべき基本事項 <p>2.現代社会のCS</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル時代のCS ・高齢社会におけるCS ・訪日外国人旅行者へのCS <p>3.礼儀・マナーの基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし ・お客様への対応の基本 ・接客時の基本マナー <p>4.販売におけるCSポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売におけるCSポイント～準備・接客・アフターフォロー～ <p>5.不具合発生時のCSポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速・親切な受付対応 ・お客様の立場になった修理対応 ・高い技術力と好印象を与えるマナー ・不当要求やハラスメントへの対応 <p>6.環境・省エネに関する法規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境保全への取り組み ・循環型社会を形成するための法体系 ・リサイクルの基本(資源有効利用促進法と3R) ・リサイクルの取り組みと法規(家電・小型家電・パソコン・電池) ・エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法) ・電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示(J-Moss) ・電力システム改革およびそれに関する法規 ・太陽光発電システム導入に係る関連法規 <p>7.消費者とのコミュニケーションに際し留意すべき法規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の生活に関する法規 ・改正民法(債権分野) ・特定商取引に関する法律(特定商取引法) ・消費税法 ・個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法) ・デジタル社会形成基本法 ・デジタル社会形成整備法 ・割賦販売法 ・携帯電話不正利用防止法 ・家庭用品品質表示法 ・産業標準化法とJISマーク表示制度 ・Sマーク認証制度 <p>8.知的財産保護に関する法規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商標法 ・著作権法 ・不正競争防止法 <p>9.独占禁止法・景品表示法とそれに関するルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独占禁止法 ・大規模小売業告示 ・家電ガイドライン ・流通・取引慣行ガイドライン ・デジタルプラットフォーム取引透明化法 ・景品表示法 ・家電業界の公正競争規約 <p>10.製品安全に関する法規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品を安全に使用するために留意すべき事項 ・電気用品安全法 ・消費生活用製品安全法 ・製品安全誓約(日本国) ・製造物責任法(PL法) ・消防法 ・電気工事士法 ・高圧ガス保安法 ・電波法 ・航空法 ・お知らせアイコン ・表示および図記号